

2023年 1月 15日

主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 聖歌588番 ～主の恵みはとこしえまで～

詩篇 23 篇

聖書朗読 創世記 15章 1～6節

特別賛美 ベアンテ・ボーマン先生ご夫妻

メッセージ 「人生をかけて主に従う」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌580番 ～慕い求めます／感謝の心～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 賛美 「明るく元気で のび のび と」

☆礼拝にお越しくださった皆様の心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝致します。今週も主の守りをお祈りいたします！

☆受洗おめでとうございます！寺澤潤一兄(1月12日)。癒しのためお祈り下さい。

★今週の祈り会：○早天祈禱会、明朝6時。◎木曜祈禱会：①午前10時半、

②夜7時半（大和祈禱会ライブ映像）。 ○準備祈禱会：土曜夜8時。

☆来週の日曜礼拝も4回行います。（司会：石井秀人兄／祈禱：白川達男兄）

※今年から通読表の読み方が変わりました。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [1/15- /22]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	創世記 38-40	41-42	43-44	45-47	48-50			
新約						マタイ 1-4	5-6	7-9
チェック	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇

「人生をかけて主に従う」

～生涯をかけたアブラハムの信仰～

「主は言われた、『わたしは自分をさして誓う。あなたがこの事をし、あなたの子、あなたのひとり子をも惜しまなかったので、わたしは大いにあなたを祝福し、大いにあなたの子孫をふやして、天の星のようにし、浜辺の砂のようにする。あなたの子孫は敵の門を打ち取り、また地のもろもろの国民はあなたの子孫によって祝福を得るであろう。あなたがわたしの言葉に従ったからである。』」

創世記22章16～18節

上記のみことばは、アブラハムが最終的な試練である、我が子イサクをいけにえをして主に捧げるという最も苦しい従順のテストに見事にパスした出来事の後に主から直接語られた最終的な試験に合格したという合格証書のようなみことばです。

私たちの主は自分の子どもをいけにえとして捧げよ！とは言われましたが、決してそんなことはお受入れされるお方ではありません。その身代わりとして、雄羊を備えられたように、それこそ、御一人子であるイエス様を身代わりとして私たちにくださったのです。

私たちは自分自身が主のものであるという自覚の中で生きなければなりません。主から与えられた人生、私たち自身が主の所有物であるという自覚です。しかし、元来私たちは自分自身は自分自身のものであるとしか考えていません。そんな私たちですから、アブラハムのように自分自身を主に捧げるという試練を通らされることがあるのです。

アブラハムはその生涯を通して、自分自身の人生がすべて主のものであるということを学び続けた存在でもありました。まずは、12章で、自分の生まれ育った故郷を捨てるということを体験しました。彼はそれ以降、故郷を再び見ることはありませんでした。そして、彼は長い年月をかけて旅をして、遠くカナン地を見ます。そして、その見たこともない地を嗣業として与えられます。その後、自分の子孫にその地を与えようと言われましたが、彼と妻サラとの間には後継ぎとなる子どもが一人もいませんでしたから、養子をもってその後を継いでもらうしかありませんでした。どんなに豊かな財産があっても、それらを譲り渡す後継ぎがいなければ何の意味もありません。しかし、その後、神様から語られていく言葉は段階的に具体的にどの人物にその豊かな財産を譲り渡すのかということを担当な時間をかけて伝えられていきます。その人物はアブラハムの実子であるということ。また、サラが産まなければならないということでした。そして、イサクが誕生しました。しかしその時、二人とも99歳と89歳という人間の生殖機能が完全に死んでしまっている状況でなされていきました。まさに、神の奇跡、あり得ない出来事が起ったということです。しかし、その奇跡はアブラハムの神への信仰、従順な心がなければ決して実現しませんでした。神様の不可能のかたまりのようなみことばを彼は素直に信じ、主に従い続けた人物です。その姿はまさに「信仰の父」そのものでした。